

Canadian Eastの 使い勝手抜群なカーサイドシェルターは 我が家ならぬどこでも"リビング"!

ネイチャーやアースカラーが一般的なギアとは一線を画す
モノトーンカラーが特徴のカーサイドシェルターは
Canadian East (カナディアンイースト)とOgawaがコラボしたギア。
「ひと味違う見た目と機能にこだわりたい!」
そんな人にピッタリなアイテムとともにLet's ソト活!

ランクルに装着したカーサイドシェルターは、アウトドアギアの老舗「Ogawa」と「Canadian East」のコラボアイテム。スタイリッシュな「黒色」がこのアイテムの特徴で、モノトーンキャンプなどひと味違ったキャンプを楽しみたい人にピッタリ。

ソト活の相棒は、四駆のプロショップ「トレイル (埼玉県行田市)」でカスタマイズしたランドクルーザー 70の再販モデルGRJ76K型)。ランクル誕生30周年を記念し、1年弱の短期間に復刻した人気モデルだ。ただし、単なる過去モデルの再販というわけではなくヤングタイマーなデザインはそのままに、こちらに登場するバンモデルでは全幅の拡大のほかアンチロック・ブレーキ・システムや、国内向けでは初となる1GR-FE型の4ℓ・V6エンジンが採用されるなどバージョンアップも遂げている。



今日はここに決めた♪

LANDCRUISER



停めた場所が家になる
フィールドの我が家
Home on the range

目前のポールを使えば自立可能なハーフテントに♪



コンパクトに収納できるカーサイドシェルターの裏メニューが、ポールを使ったハーフテント風の使い方。収納サイズは68×18×18cmとコンパクトで持ち運びが楽なので、ツーリングキャンプにもうってつけ。車の荷室からの出し入れも楽だし、なんなら車に積みっぱなしでも邪魔にならないサイズ感もウレシイ。

がない、カナディアンイーストならではのシックな、映える黒色。もちろん、見た目だけでなく、設営のしやすさやシェルター内の広さや、車に積みっぱなしでも邪魔にならないコンパクトなサイズ感なども、お気に入りのポイントだ。カーサイドシェルターに合わせてブラックで揃えたチェアとテーブルを用意すれば、モノトーンなサイトが手早く完成。今日はここがリビングにもなるし、オフィスにもなる。車で行けるのなら、どんなところも自分のスペースが作り出せる。それが、カーサイドシェルターの魅力なのかも。

鞆からパソコンを取り出す前にコーヒーをまずは一杯。ソト遊びだけでなく、テレワーク推奨のビジネスシーンでも使える移動式リビングは、気ままなソト活の相棒として、欠かせないギアなのだ。

自由なおひとり様のソト活ならば、最低限のギアだけ愛車に積んで出掛けるのもオツなもの。今日は「ソトで仕事しよう」なんて思い立ったら即行動! とばかりに、愛車のラゲッジに荷物が積んであるのを確認すると、会社に「本日は在宅勤務します」とメールして、緑の元へ駆けだした。

目的地へ到着すると、手慣れた手つきで真っ黒なカータープを用意。そんな彼の懐刀は、アウトドアパレルやテントなどのギアを販売する「カナディアンイースト」のカーサイドシェルターで、老舗メーカー「オガワ」とコラボした一品だ。その特徴は、オガワにはカラーラインナップ

貴方が気ままなアウトドアを楽しむための懐刀は?

広くて快適♪

シェルターを展開すると1番広い床面の全長は最大約285cmで、全幅は約247cm。高さは約210cmとゆったりとしたプライベートスペースが作り出せる。テーブルやチェアを置いてノマドワークするにも十分だし、コトで就寝するにも問題ないサイズ感。シェルターの横側には大型の窓が配置されており、フルクローズorメッシュで使い分け可能。



LANDCRUISER



カナディアンイースト
カーサイドシェルターブラック



- 価格：3万8000円(税抜)
- 総重量：約3.5kg(タープ約2kg ボール約1.5kg) ※付属品(約0.7kg)の重量は含まず
- 素材：フライ(ポリエステルリップストップ75d/耐水圧1800mm)、ボール(アルミ合金/φ13mm)
- 収納サイズ：68×18×18cm ■カラー：ブラック
- 付属品：タープ用吸盤フック2個、アンカーバッグ2袋、ハンマー、スチールピン、収納袋



カーサイドシェルターはテントを建てる要領でポールをタープに通したのち、吸盤フックを使って車両に固定する。その後シェルター本体をベグダウンで地面に固定すれば設置完了となる。装着する車両は車高が170～200cmくらいだとちょうど良い。カーサイドシェルターには吸盤フックの取り付け位置を調整出来るよう、タープの左右3カ所にレーザーパッチが装着されているので、軽自動車やコンパクトカーなど全長が短い車両にも取り付けしやすい工夫が施されている。

①

停めた場所が家になる
フィールドの我が家
Home on the range

飾らない、肩肘張らない、
でも、ルックスや機能に抜きなし



黒一色のシックな佇まいが都会的なCanadian Eastのカーサイドシェルターは、見た目だけでなく使い勝手もアピールポイント。両側に用意されている出入りを巻き上げてフルオープン(写真①)で開放的に使うのも良い。そのほか、写真②のようにフルクローズ状態にすれば、パーソナルスペースを作ること可能だ。シェルターの外と中にはジッパーが付いていて、写真③のように開閉可能なので、フルクローズ状態から外へのアクセスも問題ない。

オールブラックな
ベルテントもアリ!



カナディアンイースト
グロッケ8ブラック

- 価格：9万8000円(税抜)
- 総重量：約11.1kg(フライ約4.5kg、グランドシート約1.2kg、ボール約2kg) ※付属品(約2.8kg)の重量は含まず
- 素材：フライ(ポリエステルリップストップ75d/耐水圧1800mm)、サイド部：ポリエステル150d/耐水圧1800mm)、グランドシート(ポリエステル210d/耐水圧1800mm)、ボール(6061アルミ合金φ30mm、φ19mm)、
- 収納サイズ：76×28×28cm ■付属品：グランドシート、張り綱、アイアンハンマー、スチールピン、収納袋

カーサイドシェルターのほかにもCanadian EastではOgawaとコラボレーションしたアウトドアギアをラインナップしている。その2020年モデルが「グロッケ」シリーズ。4名用の「グロッケ8」のほか、5～6人用の「グロッケ12」を用意。Canadian Eastが推し進めるモノトーンキャンプシリーズで、ブラックのカラーリングが最大の特徴だ。



フロントはウインチバンパーやフォグクリアランプなどを備えたトレイル製のウインチバンパー Ver II (15万6000円)でアップデート。足元はラグナ・オフローダー (16×8J)にジオランダー M/T003を合わせるセットアップ。フェンダーは純正ながらブラックアウトして武骨な雰囲気を演出。



リアの純正バンパーを外して装着するリアバンパーカバー (3万9000円)もトレイルのオリジナルアイテム。車高は4×4エンジニアリングのパーツを使って、2.5インチアップしている。